

議 員 全 員 協 議 会

日 時	令和元年 9 月 12 日（木）開会中	10時20分 開会 11時21分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 太田佳晴 副議長 15 番 鈴木千津子	
	1 番 鈴木長馬	2 番 濱崎一輝 3 番 原口康之
	4 番 吉田富士雄	5 番 平口朋彦 6 番 藤野 守
	7 番 大井俊彦	8 番 名波喜久 9 番 植田博巳
	10 番 村田博英	11 番 良知義廣 12 番 澤田隆弘
	13 番 中野康子	14 番 大石和央
欠席議員		
事 務 局	次長 原口みよ子 書記 北原大輔	書記 大塚 康裕
説 明 員	市長、副市長、教育長、政策理事兼企画政策部長、総務部長、 政策監、建設部長、産業経済部長、観光課長、観光施設係長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（太田佳晴君）

本会議終了後の、お疲れのところですが、ただいまより議員全員協議会を始めたいと思います。

2 市長報告

○議長（太田佳晴君）

最初に市長報告ですが、資料の「さがら子生れ温泉会館について」これ以外の4件を、まず市長のほうから報告していただきます。そして、その報告の後に、この4件について質問を受けつけまして、その後「さがら子生れ温泉会館について」を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、ただいま議長から説明がありましたように、本日の資料の、さがら子生れ温泉会館につきましては後ほどということで、そのほかの4点。そして、オリンピック関係、資料にはございませんが1点追加で報告をさせていただきたいと思います。

まず、台風15号の影響についてということでございますが、台風15号の関係でございしますが、進路が東にずれまして、当市におきまして大きな被害はありませんでしたが、静波海岸の道路、そして駐車場に砂や漂着物が打ち上がりました。道路の部分につきましては、御前崎港港湾の管理事務所で対応いただきまして、除去作業は10日、火曜日に全て完了いたしました。駐車場につきましても、すぐ業者が除去作業に入って復旧作業を行い、女神像から中央トイレまでの砂の除去は9日、月曜日に完了しましたが、女神像より東側につきましては現在も作業中で、今週末の全面復旧を目指して作業をしているところでございます。

また、市外あるいは他県への災害の支援ということでございますが、伊豆地方で給水がとまっているというようなこともございまして、水道協会のほうから支援が可能かというような調査がございました。当市といたしましては、市の支援が可能であっていつでも出動できるという回答をいたしました。本日、伊豆地域については解消するというようなことから、昨日、その必要はないということがございましたので、出動はしておりません。

もう一つ、千葉県では広域にわたって停電が続いております。6月に災害協定を締結いたしました千葉県山武市においても広域停電が続いているという状況から、本市から電源車を送って支援をする意向があるかどうかということで、災害当初からお伝えをしておりましたが、近隣で必要な部分を確保できているということから要請がなく、出動についてはしていないという状況で

ございます。

今後、今、南の海上においては台風16号や、あるいは熱帯低気圧が、この3連休明けに、また来るというような報道もございますので、そうした災害の備えには万全を期していきたいというふうに考えているところでございます。

そして、2点目でございますが、商工会のビル、防災センターであります。商工会のビル、そしてフェンスへ落書きがございました。これにつきましては、9月8日午後9時ごろ、商工会の建物の北東面と南東面の壁、そして外周部のフェンスに黒色のスプレーで長さ20メートルの線を書き、現行犯で市内の方が逮捕されるという事件がございました。これにつきましては、即時に被害届を提出するとともに、被害額につきましては現在調査中でありまして、その被害額が出次第、その後の対処をしてまいりたいということで進めているところでございます。

そして、さがら子生れ温泉につきましては、後ほど説明をさせていただきます。

そして、3点目でございますが、ミルキーウェイエリアの複合施設の改修に係る経済産業省補助金の採択ということでございます。資料2をごらんをいただきたいと思います。

総合計画後期基本計画の未来若者プロジェクトで、公民の連携によるエリア再生を通じて、若者が魅力を感じる住環境の充実に取り組んでおるところでございます。プロジェクトの先導事業として、ミルキーウェイショッピングタウンの空き店舗（ジャンボエンチョー跡地）を活用して、民間と公共の複合機能を持つ施設の整備を行うということで予定をしているところでございます。

施設の改修は、施設所有者の株式会社スーパーラックが経済産業省の平成31年度商店街活性化・観光消費創出事業補助金を活用して改修を行うことになっております。

このたび、国の2次募集での採択が決定をされまして、9月9日、月曜日に公表されましたので、お知らせをさせていただきます。今後は、9月中旬から下旬にかけて補助金の申請及び交付決定がなされ、来年3月をめどに施設の改修工事が行われることとなっておりますので、よろしくをお願いいたします。

4点目でございますが、令和元年8月の豪雨災害義援金についてということでございます。資料3をごらんをください。

令和元年8月26日、月曜日から8月29日、木曜日に、九州北部（佐賀県・福岡県・長崎県）を中心に発生した豪雨災害に対する支援を目的とした義援金を受けつけ、日本赤十字社（静岡県支部）へ送ります。募金箱は、各庁舎3か所、榛原庁舎は2階の市民課受付窓口、そして相良庁舎は1階の相良窓口課の窓口で対応し、そして、さざんか1階につきましては社会福祉課窓口を設置いたします。設置期間は令和元年9月10日から令和元年10月31日の2カ月間となっております。皆様のご支援をよろしくお願いをしたいと思います。

そして、資料はございませんが、これまで議会の皆様には担当課のほうから連絡をさせていただいておりますが、2020年東京五輪事前キャンプ等に関するUSAサーフィンとの協議締結でございますが、予定どおり、2019年、今月16日、月曜日祝日でございますが、午後6時から空港の特別会議室で開催をすることで予定をしてございます。

そして、この空港の特別会議室でありますが、セキュリティの関係で、出席者全員で入室をしなくてはならないということでございますので、そうした義務づけがされております。恐れ入りますが、午後５時４５分、空港１階総合案内所前へ時間厳守でお集まりをいただきたいというように思っております。これは、通常では入れないところでございますが、３階のターミナルビル、拡張した３階の一番西側に当たりますが、窓からは滑走路が直視できるということでもあります。そういった会議室をお借りすることができたということでもありますので、どうかよろしくお願いをしたいと思います。牧之原市議会から１１人の皆さんが出席をいただけるということでもありますので、よろしくお願いをしたいと思います。

当日は、アメリカのグレッグＣＥＯがワールドサーフィングゲームズを終えて、富士山静岡空港経由で牧之原市を訪問するというところでございますので、よろしくお願いしたいと思います。

また、あわせて本市では聖火リレーが行われることとなっておりますが、けさほど、オリンピック組織委員会が、会場といいますか、聖火コースの最終確認ということで現地に調査に入りました。最終的には、今後この調査を終えてコースが最終決定されるというふうに聞いております。公表については１２月を目途に公表されるということですが、確定次第、議会の皆様には、また改めてご周知をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

そして、聖火リレーのランナーの公募につきましても、静岡県枠といいますか、２人ございますが、そこには相当数の市内の皆さんから応募をいただいたという状況の報告もいただいておりますので、非常に楽しい聖火リレーになると思いますので、そういった意味で市民全体で盛り上げていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

まず、冒頭の案件については以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

それでは、ただいまの市長の報告について、質問がありましたらお願いします。

平口議員。

○５番（平口朋彦君）

まず、商工会ビルフェンス等への落書き被害についてなんですが、一般市民の方が民間逮捕、私人逮捕ですね。民逮されたということで、容疑は確定的なものだとは思われるんですが、容疑者というか被疑者というか、やられた本人の動機等は伺っているかどうか。もし、伺っていて話せる範囲であれば、お聞かせいただきたいと思います。

あと、未来若者プロジェクトのミルキーウェイのほうなんですが、この補助事業のところで、補助対象事業の②専門家派遣事業というもの、消費創出事業等の効果を高める事業と、ここであわれていますが、実際どういった事業になるのかお聞かせください。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

1点目の商工会館の落書きに関する被害、事件でございますが、現在、警察で捜査といいますか調査中でありますので、そういった具体的な内容については、まだお話しできる状況にはないということでございます。

2点目のミルキーウェイの補助金につきましては、部長のほうから答弁をさせます。

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

ミルキーウェイの専門家派遣事業についてですが、こちらは内容的には補助金の内示を受けて、今後補助金対象になる事業を円滑に進めていくための専門家によるアドバイスを受けるということは、この事業の採択を受ける要件になっているということで、それを行っていくということなんですけれども、内容的には今月下旬に複合施設全体のコンセプトの確認、その後10月には施設改修、旧エンチョーの建物になりますが、こちらの改修の設計についてのアドバイス、それから、その後10月中旬にはテナント配置とか、イベント等で人をひきつけるための運営についてのアドバイス、その後11月にはテナントの選定方法、その後のプロセスなどについてのアドバイスを受けるということで聞いておりまして、アドバイザーについては、ミルキーウェイエリア全体の委託を行っております清水さんが、こちらについてもアドバイスをしていただくということで予定をしているという状況です。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

わかりました。専門家のほうのアドバイスということで、あくまでも、その専門家の清水さんですね。たしか、アフタヌーン何とかの方ですよ。あの方と民間事業者さんとのやりとりになるのか。これは、行政もそこに入るのか。もっと言うと、市民はこの事業にはかかわりがないという認識でいいのかどうか、お聞かせください。

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

補助金申請者は、申請者という形でいきますと、このスーパーラックさんとテナントの皆さんという形になりますので、その方々が事業者という形で直接的にはアドバイスを受けられますけれども、もちろん申請等についても行政からもサポートしておりますので、行政側も一緒に、そこについては話の中に入って、できるだけいい形でこれが実現していくように取り組みたいというふうに考えております。

今のところは、当然、未来若者プロジェクトの取り組みにもなってきますので、できるだけ多くの市民の皆さんに利用いただける施設ということで考えていくんですけれども、この過程の中

で、直接一般の市民の皆さんに入っていただいてというような場面は、現状では、すみません、想定はしておりません。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

あくまでも専門家に来てもらって話をするので、そこに市民が意見を言うと、専門家がいる意味がないんじゃないかと思って、今質問をしたんですけど。

市民を介入せずに、まずは専門家からご助言いただくという認識でいいということで、了解しました。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問は。

大井議員。

○7番（大井俊彦君）

ミルキーウェイの複合施設の関係なんですけれども、このたび、経産省の補助金をいただけるということになったわけでございますけれども、ただ、その公共部分については今回の補助対象外ということになったわけなんですけれども、以前説明があったときの部分を聞き漏らしたかもしれないんですけれども、その公共部分については100%市の持ち出しになるのか、あるいはまた、その他の補助金を活用するかどうか、その点についてお伺いをしたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

公共部分、図書館の部分については、費用的には、この事業者の方が今回の補助金で整備される部分というのは、図書館を除いた部分という形になりますので、公共部分については行政側で全て負担をするという形で考えております。

活用できる補助金等があれば、そちらは考えていく必要がありますけれども、現状では補助金等の活用はない形の整備になるかなということで想定をしております。

○議長（太田佳晴君）

大井議員。

○7番（大井俊彦君）

ここにも書いてあるんですけれども、補助金の対象外とはいっても同じ施設なものですから、整備については同時進行していくという考え方でよろしいですね。

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

それはもちろん全体で一体的にやっていくということで考えておりますので、そういう形で進めていきたいと考えております。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質疑は。

中野議員。

○13番（中野康子君）

台風15号の影響についてでございますけれども、千葉県の上武市ですかね、災害協定を結んだ直後でありまして、なぜ、もっと早い対応ができなかったかな、近隣市で間に合わせたというようなお返事をいただいたということですが、私どもでも近隣市で、やはり早い対応をして新聞に、誌上に大きく取り上げられているところがある中で、私、非常にこの辺は、ちょっと早く対応することが大事かなというふうに思いました。

それで、この市は、私どもの委員会でも視察させていただいておりますけれども、大変対応がよくて、すばらしい市であったという印象があるだけに、非常に残念だなというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

上武市につきましては、私が先ほど説明させていただいたとおり、災害直後から防災監が、再三にわたって、こういう用意があるがいかにかということで申し入れをさせていただいています。そうした中で、上武市のほうの判断で、静岡からよりも近隣での確保が可能であるということで、ご辞退したということでございます。

それから、水道に関しましても、先ほど申しましたように災害直後から可能であるかどうか。そして、いわゆる支援の準備ができるかということに関しても、いち早く、当市としてはそういう用意があるということでお伝えをさせていただいています。

そういう中で、調整した中で選ばれた市が、この近隣ですと島田市が伊東市へ出ているということでございますので、そこに関して、我々がそれ以上口を挟む状況にないということですので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

吉田議員。

○4番（吉田富士雄君）

今の中野議員と同じように、台風の影響についてなんですが、片浜地区で、この15号の台風で排水溝がふさがってしまって、畑が水で埋まってしまい、排水溝をユンボで掘って、排水をしたのですが、台風が来るたびにそういうことが起きております。

昨年、区長に同伴して市のほうへお願いしに上がったこともあります。それで、私も、きのう

現場を見に行ってきた、やはり、その砂をただ掘って水を出しただけというようなことになっていて、区長のほうと話をしたんですが、区長のほうから四者会談を市のほうへお願いしてあるということを聞きました。また、市長へ話す機会があったら言ってくださいということで、今、言っているんですが、その四者会談をいつやってくれますかということを聞いてくださいよと区長から言われておりますがどうでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

今、台風15号の被害の関係については、片浜の話はさせてもらいませんでしたけれども、片浜についても、担当のほうから私のほうに報告がありまして、ごみと砂が閉塞したということで、即時に対応するという報告をいただいております。

それから、やはり台風のたびにということではありますが、これにつきましては、やはり海から波が押し寄せて、そして漂着物・砂等が押し寄せるということでもありますので、なかなかその恒久的な対策というのは厳しいところがあるかと思うんですが、今回も、そういったことを踏まえまして、水門を水面から50センチ上げて、大きな物が川の中に逆流しない、そういう対策をとらせていただいて、最小限で済むというような、ソフトによるというんですかね、そういった対策はとらせていただきました。

今後、やはり考えられるのは、河口のところに導流堤を築く等の、いわゆる物理的な対策、こういったものも考えられるというふうに思います。

四者会談の時期につきましては、建設部長がいますので、ちょっと建設部長のほうから、その状況について答えをさせていただきたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

建設部長。

○建設部長（飯塚一日君）

ただいまお話をいただきました四者会談の関係ですけれども、ことしの市民トークの中でもご質問をいただきまして、やはり、片浜地区として根本的な対策が必要ではないかというようなお話をいただいて、うちのほうも、本当におっしゃるとおり毎回毎回同じようなことを繰り返しているものですから、根本的な、先ほど市長から話があったような導流堤の設置でありますとか、そういったことも検討していきたいということで考えておりまして、その四者会談については、近々やらせていただきたいということで考えておりますけれども、また区長さんとお話をさせていただいて、日のほうは設定をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（太田佳晴君）

吉田議員。

○４番（吉田富士雄君）

わかりました。よろしくお願いします。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問は。

植田議員。

○９番（植田博巳君）

ミルキーウェイの関係で、若干お聞きしたいと思います。この申請事業で、補助対象経費と申請額が出ているんですけれども、補助申請をする場合は、概略設計とか図面ができ上がって、ある程度予算額を出して、工事費を出して申請すると思うんですけれども、このミルキーウェイの図書館も全体の創生事業というのが、もう施設的には図面ができ上がっていて、補助対象外経費も含めて全体事業費をどのくらいで考えていらっしゃるのでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

この補助金の申請に当たっては、おおよその配置等は決めてということで、ある程度の見積もりもした形で当然申請はしているといった形になっておりまして、図書館についても、全体の中でこの場所にというような想定はある程度しているんですけれども、まだ、恐縮ですけれども、そういったレベルになっておりまして、現時点では採択がされたということで、今後、交付申請をしていく中で金額的なものも詰めていくということで、また図書館部分につきましても、補正で設計等について、今、ご審議をお願いすることになっておりますけれども、その後、設計等の中で細かいところは決まっていくという状況ということで考えております。

○議長（太田佳晴君）

植田議員。

○９番（植田博巳君）

すると、この補助金の採択の決定というのは、枠として採択されたという認識でいいのかな。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

これは、あくまでも民間事業者が国に直接補助金を申請するというものでありまして、今回、市もその作成に当たってご支援をさせていただいているんですが、まず当初の設計、金額に当たっては概算であります。ですから、配置もざっくりと、図書館スペースがここで、民間のテナントが入る部分がここというようなもので、どちらかというと物語、事業計画の内容が大変重要でありまして、その作文といいますか、計画でもって、絵というよりも、そこが大変重要であると。概略に、例えば浄化槽の工事が幾らであるとか、外壁の工事が幾らであるとか、内装が幾らであるとかというのを、ざっくり見積もると。

今回、補助金がついたことによって、正式に設計委託を出すということで詳細が決まってくるということであります。

とりあえず、今回、事業者が申請した額は1億5,000万円で、補助金が3分の2ですので1億円が補助金で交付されるということが内定したということでございます。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問は。

原口議員。

○3番（原口康之君）

台風15号の影響について、1点だけ。地頭方漁港は、ほかの坂井とか相良漁港と違って管理が市の関係になると思うんですけど、台風のたびに船を避難させる人たちがいて、その避難させる人たちの高齢化が進んでいます。毎回、避難勧告とか、そういう近いものが出るたびに、焼津漁港に逃げているらしいんですけど、相良とか坂井とか、近くの御前崎漁港は、港の中で避難できるような状況があるみたいなんですけど、地頭方漁港に関して、そういう避難しなくてもいいような状況がつかれるのかどうかというのを、少しお聞きしたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も、そこまで専門的な知識といいますか、状況を把握しておりませんので、ただいまのご意見を踏まえて早速調査をさせていただきたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問は。

よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

企画政策部長。

○企画政策部長（坂本 勝君）

申しわけありません。1点、先ほどのミルキーウェイの関係で追加といいますか、確認をさせていただきます。

図書館と全体が一体的に進められるのかというご質問に関してなんですけれども、もちろん、こちらは一体的に進められるということで、設計自体も全体を統一をとるような形で設計されるということで、全体の設計の中で図書館部分もやってもらうということで、市から負担金という形で全体の設計の中でやっていただくような一体的な形を考えておりますけれども、施工の時期そのものは、こちらの建物全体の図書館以外の部分については、補助金の関係もあって今年度中の施工という形になりますけれども、図書館部分については、今年度設計を行って来年度施工という形になりますので、施工については1年ずれていくような形になります。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

それでは、さがら子生れ温泉会館について、お願いします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、まず資料1をごらんいただきたいと思います。さがら子生れ温泉会館についての、温泉料金についての報告でございます。

条例につきましては、6月議会において否決を受けまして、7月11日の総務建設常任委員会で担当課からご報告をさせていただきましたとおり、入館料の1日券の廃止をしたところであります。そして今回は、10月の税制改正に伴い、POSシステムというんですが、これはレジのシステムであります、この変更を行うことが必要となっておりまして、そうした中で指定管理者より、現状の条例の範囲内でその他料金の一部を変更したいということで申請がございました。

そのほかの料金につきましては、市長が承認する形をとるということになっておりますので、事前に報告をさせていただきたいということでございます。

詳細につきましては担当より説明をさせますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（太田佳晴君）

観光課長。

○観光課長（八木康仁君）

今、市長のほうからもお話がありましたとおり、以前にご報告しましたとおり、入館料の全ての1日券の廃止をさせていただいたところであります。

今回、ご報告の案件としまして、資料1を見ていただければと思うんですけれども、10月1日からの運用希望にあります、個室及び家族風呂の料金、いわゆるその他の料金の変更についてであります。こちらは、現牧之原市さがら子生れ温泉会館条例の13条におきまして、市長の承認を得て指定管理者が定めることができるとあります。資料にありますとおり、個室と家族風呂の利用料の割引額の変更により、どちらも現在の利用率が悪いための改善のための料金変更でありまして、回転率を上げるためのものでございます。

個室風呂に関しましては、2時間2,100円、以降1時間につき1,050円増しを変更しまして、1時間550円、以降1時間につき550円増しという時間を短縮しながら、金額も大幅に減額し、使いやすい時間設定にすることで、回転率や利用のしやすさを実現させております。

こちらの家族風呂に関しましては、現行2時間2,100円、以降1時間につき1,050円増しを、2時間2,300円、以降1時間につき1,150円増しということで、実質的には200円程度のアップになりますが、こちらは利用者からの要望に応える形で、おむつ台の設置、あと温水洗浄便座の設置を行うことで、機能性のアップと利用者の利便性を図りながら、利用率アップにつなげることにあります。

この改定におきましては、現条例の範囲内のものでありまして、新たな条例を上程するまでの

暫定の改定でありますことをご理解していただき、ご報告をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（太田佳晴君）

報告は終わりました。ただいまの件について、質問はありますか。
よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、この件につきまして報告を終わります。
澤田議員。

○12番（澤田隆弘君）

すみません。議題にはありませんが、その他でお願いします。

16日が敬老の日ですね。市は敬老の日は、イベントとか、そういったものをやりませんか。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

敬老の事業は、私もちょっと記憶に、何年からという具体的な年数は記憶にございませんが、以前は、市として敬老の事業を文化センターとかというところで集まって、一斉に市内全体でやっていたというふうに、私も記憶をしております。

もう、10年以上前だとは思いますが、牧之原市になってからかもしれませんが、非常に高齢者の数が多くなりまして、文化センター等に一堂に会するというようなことが物理的に不可能になってきているというのが一つあるかと思います。

そういう中で、今では、各自治会単位で敬老事業をやっていただいております。やらない自治体もあらうかと思いますが、そういう中で、市のほうに出席要請がございましたら、三役なりが、あるいは部長なりが出席をさせていただいて、お祝いをさせていただくというようなことをやらせていただいている。

そして、もう一つは今、88歳、米寿の皆様には、市からお祝い状を届けさせていただく。今年度からは、そういった88歳、米寿を迎える方に対して、ほんのわずかではございますが、これまでのご労苦、そして長寿に際するお祝いということで、お菓子券を1,000円分ではありますが、今年度から配布をさせていただいて、市内に登録いただいたお菓子屋さんへ行けば、1,000円分のお菓子と交換できるというような事業を始めさせていただきました。

このほか、88歳の米寿を迎える方が320人ほどいらっしゃいます。今年度ですね。ですから、88歳だけで320人ですので、後期高齢者75歳以上といったら、もう相当な数になるということですので、ご認識をいただきたいと。

それから、100歳以上の方も、今年度30人くらいが100歳を迎えるということですので、それにつきましては、これまで市長がお誕生日に花束を持ってお祝に駆けつけるということの事

業、それから、この敬老の事業としては、100歳の方のところに副市長と教育長が手分けをして、総理大臣、そして県知事のお祝いを届けるという事業をさせていただいていたんですが、今年度から余りにも一気に30人という形で多ございますので、三役で、総理大臣そして県知事のお祝いに関しては手分けをしてお配りさせていただく。そして、お誕生日に関しては、今まで私が訪問していたんですが、30人全てを訪問するというのは非常に日程を確保するのも大変ということでありまして、これにつきましても、部対応といえますか、そういった形で、少し今年度から対応をかえさせていただきたいというふうに思っておりますので、極力、各地区で行う敬老事業に関しては出席をさせていただきたいというふうに思っております。

以上であります。

○議長（太田佳晴君）

澤田議員。

○12番（澤田隆弘君）

なぜ、そんなことを言うかという、やっぱり、あちこちの市民の方から、今まであるのは、私たちが一生懸命やったおかげじゃないとか、そういうことを言われます。今、88歳でお祝いしてくれると言ってくれましたが、全体的に、やっぱりおめでとうを言うんだったら、同報無線もありますので、そこで一言、市長が言っていれば、皆さん何とか少しは納得してくれるかなと思いますが、どうですか。

○議長（太田佳晴君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

同報無線という手段もありますけれども、やはり同報無線というのは余りいろんなことに多用しますと、いざという事態のときに、市民の皆さんが緊急事態であるという認識が、やはり薄れるということで、これはやっぱり用途がある程度限定されております。そういった意味で、先ほど申しましたように、88歳の米寿を迎える方には、まずは320人いらっしゃるということで、書面をもってお祝いを申し上げ、そして今年度から、そういったお祝いの品を届けさせていただくというような体制をとらせていただきたいと思います。

人生100年時代を迎えましたので、いろいろなお考えがあろうかと思いますが、そういったことで生涯活躍ということでご理解いただけるとありがたいかなと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（太田佳晴君）

それでは、よろしいですね。

以上で、市長報告を終わります。

○市長（杉本基久雄君）

ありがとうございました。

3 議会運営委員会からの報告

○議長（太田佳晴君）

次に、議会運営委員会からの報告ということで、今定例会の追加議案について、議会運営委員会委員長よりお願いします。

○14番（大石和央君）

お手元に追加の資料がございます。議案第57号と議案第58号が追加ということであります。

詳細というか、この説明につきましては合同協議会のほうで説明があろうかというふうに思います。

この日程についてなんですけれども、本日、合同協議会のほうで説明をしてもらって、18日の一般質問の後、上程されるということで、そして同時に質疑をやって、それから委員会付託ということになりますので、あとは、ほかの議案と同じように作業をしていくという、こんなような段取りになりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

ただいまの報告に質問はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

よろしいですね。

4 協議事項 （1） 報酬及び定数・政務活動費についての検討（第8回）

○議長（太田佳晴君）

それでは、4番の協議事項に入りたいと思います。

報酬及び定数・政務活動費についての検討ということで、今回、第8回ということになりますけど、この8回をもって最終とさせていただくということで考えております。

一昨年改選後、間もなく議会内のワーキンググループ3での議論を、それを取りまとめまして、昨年末、全員協議会のほうに協議を移行しました。

その後、3月9日の第1回に始まりまして、8月22日の第7回まで、全員協議会でこの件について取りまとめ、議論を重ねてまいりました。

まず、第1回において、皆様に、議員間での議論を十分に重ねまして16名の議員が一体となり市民に説明できる環境をつくるのが最も重要である。したがって、ワーキンググループ3での取りまとめを基本にして、なるべく手戻りのないような進め方をさせていただきたいということでお願いをしまして、その後、報酬、定数・政務活動費、それぞれにつきまして、具体的な根拠を積み上げて整理する中で、牧之原市議会の総意を取りまとめるべく進めてまいりました。

その結果、今回の資料の1、協議経過のまとめのとおり、この3点について取りまとめが行われました。

まず、報酬につきましては、もともと現在の報酬額が低いということは、全議員の共通認識であること、もう、このことを基本にしまして協議を進めてまいりました。その結果、市長と議員の活動時間を比較して、その率により市長の給与を掛けるという、これは全国の市町村議会検討案方式というものを採用いたしました。昨年、北上市へ視察に参りましたけれども、北上市のほうでも、当時の案が認められていましたけれども、これも、やはり、この検討方式を採用しておりました。そういったことで、我々の市議会としても、標準報酬額として36万6,687円が導き出されました。

定数につきましては、県内各市の人口、面積、常任委員会数等と県内各市議会の議員定数を比較しまして、各議員の議員定数に対する考え方を聞きまして、これにつきましては現状維持・1名削減・2名削減の、この3案で多数決をとらせていただきました結果、現状維持が多数、11名ということになりました。

そして、政務活動費につきましては、政務活動費は本来は支給されるべきものであり、議員個々の資質向上や政務活動を充実させるためにも必要であることは、全議員認識をしていることとございました。しかしながら、現段階では導入に向けた課題等が多く、いろんな議論をいただきましたけれども、多数決をとらせていただきました結果、現段階での導入の決定は見送りまして、今後、調査・研究期間を設けた後、また、再度協議を行っていくと、一応こういうことにはなりました。

これを踏まえまして、ここにあります改正案を提示させていただきました。

改正案は、定数が16、金額につきましては議長が45万円、副議長が38万円、委員長が37万円、そして議員が36万円と、現報酬の9万円アップということで改正案を提出させていただきました。

これにつきましては、全体の合計額が9,556万5,250円になりますけれども、これは合併協議会で当時、旧榛原町・相良町の議員の総数32名おりましたけれども、その旧町の議員の報酬を上回らない22名という定数になりましたけれども、それを上回らない、下回る金額、これが9,556万5,250円ということで、このような形で改正案を皆様に提示をさせていただいたところです。

しかしながら、これについていろんなご意見をいただきました。それを踏まえて、きょうの総括とさせていただきたいと、そんなように思っております。

今までの基本経過の取りまとめにつきまして、質問等がありましたら、お願いします。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、総括ということで移らせていただきたいと思います。

前回と前々回、実は前々回で総括ということで、取りまとめをと考えておりました。しかしながら、前々回もいろいろなご意見が出まして、また、前回8月22日におきましてもいろいろなご意見が出まして、取りまとめることはできませんでした。それをもって、きょうに至ったわけなんですけれども、まず、ここで最初に改正案について、賛成、反対かということで二者択一の採決を行わせてもらって、それをもって総括的な結論づけをしていきたいと、そんなふうにご考えてお

りますので、ご意見は、もう十分出ておりますので、この改正案について賛成か反対かと、これをお願いを、まずはしたいと思います。

植田議員。

○ 9 番（植田博巳君）

この改正案というか、これからこの案が市民との意見交換等、審議会等に諮られるということなんでしょうけれども、当然、その中で変更する要素はあるというふうに私は思っているんですけども、市民との説明とかいろんな形で、この案が調整されるという前提で、今のような形の採決ということによろしいですか。

○ 議長（太田佳晴君）

それについて、今まで十分議論がされました。私はここで、採決、賛成か反対かというのは、ここで決めるという意味合いではないです。実際には。今、最後に言いましたように、それをもって総括的な今回の結論づけにもっていきたいということですので、まずは、そのことでね。

今、植田議員が言われたことについても、後ほど、回答になるべきことを報告させていただきたいと、そんなふうに思いますので、単純に、この形によろしいかどうかと。市民に説明するに、この16人が一つになって説明するときに、これでできるかどうかということで、率直な気持ちで結構です。

それでは、この改正案について、賛成であるという方は挙手をお願いいたします。

〔賛 成 者 挙 手〕

○ 議長（太田佳晴君）

ありがとうございました。15名中9名ということでございます。

それでは、今、採決を採らせていただきました結果、この改正案につきましては、私以外で9対6ということになりました。

これについて、私の意見を述べさせていただきたいと、そんなふうに思いますので、少し時間をいただきたいと思います。

今回、最終的な取りまとめに当たりまして、前回まで皆さんから多くの意見が出されまして、それぞれ各議員とも思うところはさまざまあり、いろんなご意見をお持ちだろうと、そんなふうに思います。

しかし、この議会と16人の議員の今の務めは、次の改選後、そして未来につながっていく牧之原市議会がどのようにあるべきか、そのために何をかえていくことが必要であるかということにあると思い、私は2年前の議長選で皆様方に訴えましたことに沿って、議長としてこの課題に責任を持ち、取り組みを進めてきたつもりでございます。

そして今回、間もなく私の議長の任期である2年を迎える前に、ワーキンググループ3における意見の取りまとめから、全員協議会での7回の議論の中で、皆さんの意見の集約として具体的な改正案が導き出されたのは大きな成果であり、私は大変意義のあるものだと思っております。

このような中でありますけれども、先日、全国の市議長会から、昨年12月末現在の全国の市議

会議員の報酬、定数について、ある資料が届いておりました。それによりますと、全国の議員報酬の平均額でございますけれども、5万人未満が33万1,500円、5万人から10万人未満が39万2,300円。これは、我々の市は5万人未満にはなりますけれども、5万人未満の中には、かなり人口の低い市もありますので、39万円と33万円の大体中間に36万円があると、そんなような位置づけだと思います。

定数につきましては、5万人未満が17.4人、5万人から10万人未満は20.9人、したがって、5万人未満の平均17.4を、私たちの市は16人ということで下回っております。ということで、私たちが導き出しました改正案との数字との整合性も、私は十分とれていると、そのように感じとれるものでありました。

この2年間、長い時間を費やしましてまとめてきた改正案につきましては、しっかりとした根拠をもって導き出されたものであり、私は市民の皆様にも真摯に向き合い説明するに値するもので、今後、牧之原市議会が目指すべきこと、また、その方向性を考えたときに自信を持ち、誇れるものだ、そんな内容だと私は思っております。

しかしながら、前回と、また前々回での皆さんの多くのご意見を伺う中で、そしてまた、先ほどの採決の結果を見ましても、16人の合意が得られない中で、現時点での市民への説明はすべきではないと判断をし、非常に残念ではありますが、この2年間の議論は、これをもって、まずは終結とさせていただきたいと私は思います。

今後につきましては、新しい体制の中で、どのようにすべきか、全てを私は委ねていきたいと思っております。私の力不足でこのような結果になりましたことを、おわび申し上げますとともに、長い間の議論、また、ご協力に感謝をいたしたいと思っております。

ということで、今回のことが当然無駄にならないように、また次の体制の中でしっかりと、この問題に皆さんで向き合ってもらいたいなど、そんなふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

この、報酬、定数・政務活動費についての検討会は、以上をもって終了とさせていただきたいと思っております。

それと、協議事項に入っていませんけれども、先ほど、きょう、初めて見たんですけれども、市長報告の中で8月の豪雨災害義援金について、これがありました。これについて、今までも議会でも、大きな災害が出たときには議会として何らかの対応をしてきたことがあります。対応しなかったことも当然ありますけれども、今回のこの件について、どんな対応をすべきかということ、少し皆さんのご意見を伺いたいと思っておりますけれども、どうでしょうか。

平口委員。

○5番（平口朋彦君）

前回やったのは覚えてはいるんですけど、被害がどの程度だったかというのを、余りきっちり詳細を覚えていないんですよ。こういったことって、本当はあってほしくないことなんですけれども、天災にまつわることで、いたし方ないところがあります。やはり、どこかで線を引く

というのは変ですけど、やるんだったら全てやるとか、やっぱり被害が余りにも甚大だというのであれば、そのラインから、こういうふうに義援金等を送ろうというふうにするという、ある程度の、決め事まではいかなくても、基準はあっていいのかなとは思いますが。

○議長（太田佳晴君）

私も、ちょっと唐突だったものですから、少し過去の例を調べてもらって、それをもって今、平口議員が言われたことも含めて、議会の対応を、また皆さんに確認したいと思いますので。

きょうは、そういったことで、聞きおくにしていきたいと思います。

5 その他

○議長（太田佳晴君）

それでは、その他ですけれども、文教厚生委員会委員長より、お願いします。

○7番（大井俊彦君）

保育園の施設マネジメントの意見交換会なんですけれども、前に当局のほうから文教厚生委員会に対して意見交換会を開催していただきたいという申し出がありまして、文教厚生委員会として、現在まで2回の意見交換会を行ってまいりました。

前回の意見交換会の中で、次回から市内の各保育園ごとの運営方針について意見交換をしたいという話がございまして、文教厚生委員会としても了解をしたというところでございますけれども、市内の各保育園ごとの運営方針ということになりますと、文教厚生委員会だけではなくして、総務建設委員会にもかかわるような部分が出てきますので、今回は9月19日が予定されておるんですけれども、そのときからは、総務建設委員会との合同で、この意見交換会を実施したいというふうに考えておりますけれども、それでよろしいか、皆さんにご意見を伺いたいというふうに思いますけれども、よろしくお願いします。

○議長（太田佳晴君）

今、文教の委員長から報告がありましたとおりですけれども、総務の委員長、どうでしょうか。

○8番（名波喜久君）

私も、それは一緒にやってもいいかなと思っています。それに絡んで、施設絡みが来るかもしれないし、一緒にやって情報を共有したほうがいいかと、そう思います。

○議長（太田佳晴君）

では、文教の委員長の、今の報告のとおりでございますけれども、あと2か月余りで委員会構成も変わります。そういったことで、共有するということで、今後は全体でということよろしいですか。

○事務局書記（北原大輔君）

詳細について、ご説明させていただきます。

以前の、今まで文教の委員だけで行っておりました意見交換会ですと、10時からということで予定をされておりました。ただ、今回、総務の方も一緒に聞くということで人数的にはふえます

ので、発言される方もふえるということを加味しますと、当局的には、例えば9時になったりだとかというのも可能ということですので、そこにつきましては議員の皆さんのほうでご協議いただいて、開始時間を決めていただければというふうに思います。

午後から学組がありますので、基本的に午前中ということでお願いをしたいというふうに思います。

○議長（太田佳晴君）

それでは、9月19日は合同協議会ということで、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、総務の委員長、よろしくお願いします。

○事務局書記（北原大輔君）

時間は、すみません。何時からにされますか。

○議長（太田佳晴君）

9時でよろしいですか。

それでは、9時でお願いします。

○事務局書記（北原大輔君）

4階大会議室で、この場所で9時からということで、お願いしたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

それでは、改めて通知のほうはお願いします。

その他でもう1件ですけれども、皆さんにお知らせしたとおり、一昨日になりますけど、植田事務局長のお父さんが亡くなりました。そういったことで、きょうも本会議だけを出席していただいて、今、家に戻っております。

それで、葬儀の関係の生花と香典なんですけれども、議会互助会のほうから出させてもらうということでご承知おきいただきたいんですけれども。そういった対応をさせていただきます。

ほかに、その他、事務局ありますか。

それでは、以上で議員全員協議会を終了します。ありがとうございました。

〔午前 11時21分 閉会〕